

会 議 議 事 録

1 会議名	令和7年度 第1回長岡市栃尾美術館協議会
2 開催日時	令和7年7月30日（水曜日）午前10時から11時30分まで
3 開催場所	長岡市栃尾美術館 1階アトリエ
4 出席者名	（協議会委員）8名 境野委員、星野（正）委員、新澤委員、有本委員、 安藤委員、星野（素）委員、渡辺委員、大野委員 （事務局）4名 野村中央図書館長補佐、諏佐栃尾美術館長、坂井主査 酒井会計年度任用職員（学芸員）
5 欠席者名	なし
6 議題	（1） 正副会長の選出 （2） 報告事項 ① 令和6年度事業報告について ② 令和7年度事業について （3） 協議事項 令和8年度栃尾美術館展覧会事業（案）について
7 審議結果の概要	議題（1）について 境野広志委員を会長に、星野正子委員を副会長に選出した。 議題（2）、議題（3）について 事務局提案のとおり決定した。
8 審議の内容	
事務局	（1）正副会長の選出 会長に境野広志委員、副会長に星野正子委員が選出された。 （2）報告事項 ①令和6年度報告事項について （資料1-1、1-2、1-3、1-4により説明）

	②令和7年度事業について (資料2、資料3-1, 3-2により説明)
会長	この説明に対して、ご質問等はあるか。
委員	金澤翔子展の宣伝について、ポスターやチラシをなかなか目にする機会がないが、どのような場所に掲示をしているか。
委員	周知次第では多数の入館者が見込めると思う。テレビなどの宣伝は難しいとしても、もう少しプロモーションの工夫ができないか。
事務局	新潟日報から取材があったので、近日中に掲載される予定。 ポスター・チラシは例年並みに配布しているが、相手方が実際に掲示されるかどうかまでは、わからないのが現状である。
会長	S N S 発信も積極的に発信していただくと効果的である。
事務局	昨年の星野道夫展も出足が伸びなかった。熱中症アラートも出ており、不要不急の外出は控えるという状況による影響はあると思う。会期も長いためお盆の帰省などに期待したい。
委員	障害児、ダウン症の親御さんは観覧したいと思う。勇気づけられるのでは。福祉関係の団体にもP Rをされたら良い。
会長	福祉、教育、医療、など様々な分野への宣伝があったほうが良い。
事務局	引き続き広報に力を入れていきたい。
委員	書だけでなく翔子さんとお母さまの親子の関係を色濃く見たい。ご本人たちを交えてのイベントなどは予定しているか。
事務局	予算の問題に加え、来館者の殺到が想定されることから安全の確保が困難なため、残念ながら予定はない。
委員	長岡に来れなくてもオンラインでも可能であるし、許可されれば、作品の説明等を動画撮影をして上映するとか、Xでの発信の

	他にも、圧倒的に閲覧する機会が多いインスタグラムで発信するのもよい。
委員	展示室は写真撮影ができないので、個人では撮影禁止でも美術館としてインスタグラムで写真を発信して、それを見た人からさらに発信してもらうなどできるのではないかな。
委員	SNSやアナログのチラシにしても、子育てしている女性の多い職場であれば子連れで来てくれたり、学校関連、福祉の両面からも宣伝する余地はある。
会長	クラウドファンディングの目標額とプロモーションをお聞かせ願いたい。
事務局	開館30周年事業へのご支援を目的として、金額は100万円。当館のホームページ、SNSで積極的に発信していく。
会長	「トチオノアカリ」の開催日はいつか。また栃尾美術館はどのように参加されるのか。
事務局	9月27、28日の開催である。美術館の開館は19時まで延長し、敷地内に灯りを点けることを検討している。美術館の駐車場を使用できるので、美術館を観覧して、灯りをみながら下って行けばお互い相乗効果が得られると期待している。
会長	当日は天体観測などのイベントはないかな。
事務局	天体観測は灯りがあると星が見えないことから、別日に行く。
委員	関連したワークショップがあると宇宙に興味がある人や親子連れが楽しめると思う。工作的なものなのか天体的なものなのか簡単なものができるといい。
委員	中学校は美術免許を持った先生がいない。作品を作ることはやっているが、美術で大切なことは「鑑賞」である。生徒はただ作品を見るだけで、周りに感想を伝えることが苦手である。栃尾地区の小中学生を対象に、作家の話を直接聞きながら「鑑賞の仕方」を学べる機会があるととても貴重な体験になる。学校の授業でマ

	イクロバスで来れると良い。中学校では年間３５時間しか美術の授業をしないが、そのうちの１、２時間くらい当てても良いのではないかと思う。
事務局	今後、展覧会によって、作家による解説などが可能な場合があれば、学校への早めの声掛けや相談を検討したい。
会長	「日本刀の美」の集客が多いのはワークショップの影響か。
事務局	いろんなイベントがあったからというところも大きい。
会長	そのようなことから、今回の二つの企画展に関してももう少しイベントがあったほうが良いと思われる。
事務局	(３) 協議事項 令和８年度栃尾美術館展覧会事業（案）について （資料４により説明）
会長	この説明に対して、ご質問等はあるか。
委員	令和７年度予算について、展覧会、普及事業それぞれについて伺いたい。予算によって事業の範囲が絞られてくるだろうと思う。規模が小さくてもこのような美術館があって良かったと思っていただける美術館になってもらいたい。人が入らなくても、地域の一生懸命頑張っている人間を取り上げて、そういう人たちに光を当ててくれるような美術館になってもらいたいと思う。
事務局	令和７年度予算は展覧会と普及事業合わせておよそ９５０万円で、内訳は普及事業が４５万円程で、展覧会事業が約９００万円である。
委員	入場者は少なくとも、地域の子供達を集めたり、この作品だったらここに行けばあるというような展覧会の方法もあるのではないかと思う。
会長	長岡の美術協会のメンバーの作品ということか。
委員	可能性のひとつとしては考えられる。アオーレで市民写生会の

	作品展をやっているが、その写生会の作品をギャラリーでやってもいいのかなと思う。
会長	ギャラリーの稼働率はかなり高い認識でよいか。
事務局	抽選があるほど人気はかなり高い。無料というのが一番大きい。
会長	ギャラリーの利用人数は把握しているか。
事務局	施設利用者が令和6年度は14,000人、そのうち展覧会観覧者が12,000人であり、その差がギャラリー等の利用者となる。
委員	当初のこども作品展は、当時は子どもの人数も多かったので、作品数も多かったが、少子化が深刻な中、やり方を見直していかなければならないというのが課題である。先ほどの意見にもあったが、描きたいという大人の作品を同時に展示するなど工夫が必要である。
会長	昨年の長岡全体のこども作品展は2,000人位である。
委員	長岡のこども作品展は多いが栃尾の児童だけの作品展は作品数が減少してきている。
事務局	今年度は、前期は全域、後期は栃尾地域としたが、今後は作品数の状況をみて、やり方を考えていきたい。
会長	②の夏の購入企画についてご意見はあるか。
委員	夏は暑いので行き場がほしい。子どもが喜ぶ企画、絵本や、子どもが一人で完結できる簡単で自由度の高いワークショップなどを企画していただけると良い。
委員	昨年、恐竜のワークショップをしていただいたが、とても好評で持ち帰って自宅でも遊んだということを聞いた。
委員	トチオーレで有名な人の顔を書いて毎年展示している人がいる。その人を講師にした講座などオリジナルの独自企画なども良

	い。
事務局	年にひとつくらいは、館所蔵品展以外でと考えているが、学芸員が一人しかいない中で、できる範囲も限られてくるが、貴重なご意見として、今後の検討の参考にしたい。
委員	近代美術館も万代島美術館もサポータークラブ、友の会みたいなものがあるが、こちらの美術館はないのか。
事務局	事務局の問題があり、独立してやっていただければいいが、職員が事務局を持つということが難しい。
会長	近代美術館でさえ独自の企画展をやるのが難しくなってきたと聞いている。予算の問題もあるが、今後もアイデアを出していくことは大事である。
委員	栃尾地域で活躍している作家との連携をとってみるのも良い。
事務局	お互いの宣伝はポスター、チラシの設置を行っているが、今後機会があれば検討したい。
会長	私の大学の卒業生も十日町の星と森の詩美術館でグループ展をやっているがそういった方や美術協会の方からもご協力をいただき企画展に絡めてミックスした独自の企画展があっても良いと思う。 本日の議事はこれで終了とさせていただく。ご協力ありがとうございました。 以上
9 会議資料	別添のとおり